

婚活のスタートは身だしなみを知ることから ～婚活スタイリストからの視点～

■お相手の反応が変わった「転機」

仕事柄、普段から「動きやすい恰好」をすることが多いAさんは、「自分の服装は、至って普通」と感じていました。これまで誰からも「おかしい」と指摘されたことがなかったからです。

だからこそ既婚者の友人から婚活スタイリストである私を、紹介された当初、「自分には関係ない」と彼は考えていましたが、「婚活イベントの服装は、カップリングに影響するよ」という友人のアドバイスが気になり、改めて私のところにやってきました。

ここから彼の姿勢は変わっていきます。

■清潔感のつくり方



婚活スタイリストの私が、最初に彼に伝えたことは「男女で、『普通の基準』が変わる」ということでした。

たとえば「清潔感が大事」ということは、誰もが知るところ。でも実際のところ、

目に見えない雰囲気であるため、清潔感のレシピについては、あまり知られていないのではないのでしょうか。そこで私が伝えたポイントは、「清潔感の反対語である生活感を、ゼロにすることで清潔感がつくれる」という工夫でした。

では生活感を消した服選びとは、具体的にどういうポイントがあるのでしょうか。

■汗を感じさせない「肌着の正解」

高温多湿の日本で、肌着なしでは、汗がにじんでしまいます。ところが肌着は、汗を吸収する役割をもつため、肌着自体が見えてしまうことは「汗くささ」を連想してしまうのです。だからこそ第一ボタンを開ける着こなしならば、Vネックの肌着を選ぶこと。

また白シャツを着るならば、黒や白の肌着では、袖や首まわりの境界が悪目立ちしてしまうのです。そこで肌着は、チラッと見えてしまったとき、肌に同化させるため、スキンカラーと呼ばれるベージュ色を選んでみてください。

一方、休日服のシワも生活感が出やすいポイントです。とくにパンツの丈感は、印象を左右するポイントです。

■スニーカー合わせに合う「丈感の正体」

パンツ丈の正解は、合わせる靴で変わります。たとえばスーツスラックスとジーンズやチノパンのように厚手のパンツは、靴に乗ったときのシワの印象も別物です。

とくにゴワゴワしたジーンズやチノパンの場合、シワ自体が、だらしく見えるため、合わせるスニーカーにたいして、余計なシワが乗らない程度の丈感に調整してみてください。余計なシワ感がないだけで、足元はスッキリするため、生活感を消すことが可能です。

足元に乗っかる余計な布がエレガントに見えるケースは、スーツスラックスのような軽量感ある「生地ゆれ」が、革靴に触れたときカーテンのようにヒラヒラ揺らぐときのみ素敵に見えます。

このように男性目線と女性目線は、「気になるポイント」が異なります。外見とは、いちばん外側にある内面です。人間大切なのは中身ですが、ファッションは目に見えない人間性を「見える化」してくれるものです。

自分の常識にとらわれず、婚活イベントに向かうときは、服装を磨くこともお忘れなく。

■筆者プロフィール

買い物に同行するスタイリスト 森井良行

のべ 5500 人を超える買い物に同行。なかでも婚活されているクライアントからの信頼は厚く、ファッションに加え、エスコートや立ち振る舞い、コミュニケーションを指導し、これまで 200 人以上の方から成婚報告を受ける。その実績が評価され、大手出版社よりファッション書籍 5 冊を出版。不定期ながらテレビ出演している。